

NS フリースパン水管橋®

Expansible and Retractable Pipe Bridge for Water Service [NS-FreeSpan Pipe Bridge for Water Service]

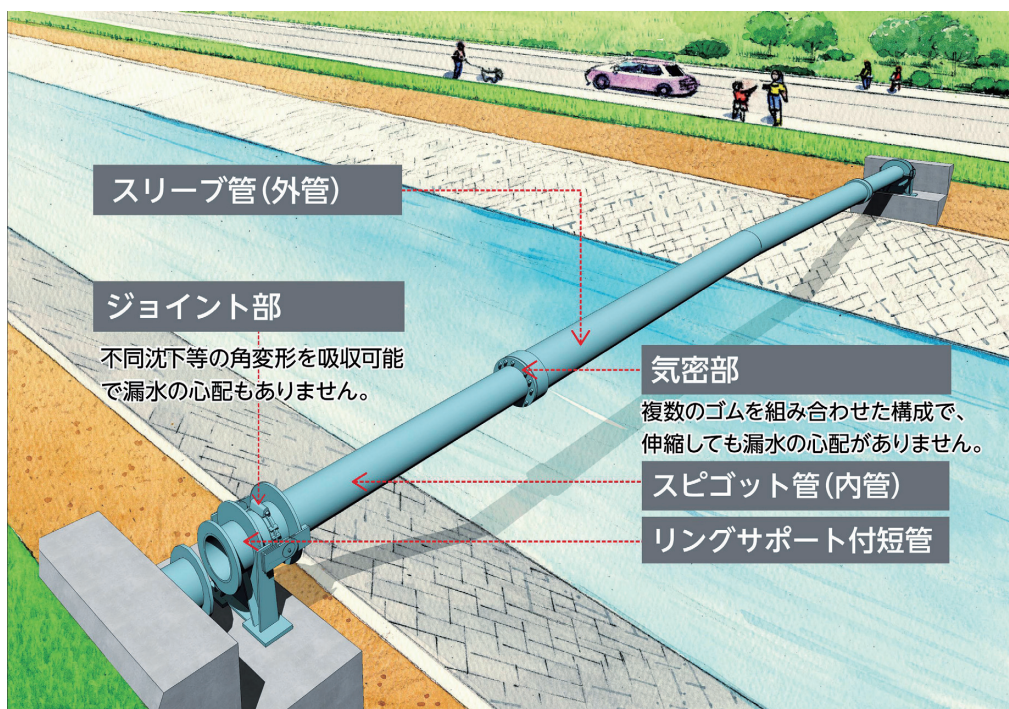
従来工法の水管橋では、一括して運搬不可能な支間長の場合、水管橋部材を分割輸送し、現地で地組作業が必要となります。また、物件ごとに上部工の詳細設計が必要となり、下部工に合わせて支間長を決定し、製作・架設する必要がありました。

当社は、これらの従来工法の課題を解決し、支間長を現場で自由に設定でき、一括運搬不可能な支間長の水管橋でも、収縮させた状態で一括運搬可能となる、伸縮フリーな新しいスタイルの水管橋用配管ユニットとしてNS フリースパン水管橋®を開発しました。

1 NS フリースパン水管橋®の特長

- ・ 2種類の口径の管を主部材とするシンプルな構成です。
- ・ 工場で組み立てた後、トラックの荷台に合わせて縮めて(12m程度)輸送可能です。
- ・ 橋台に伸縮管用の広い橋座を必要としません。

従来工法	NS フリースパン水管橋®
・ そのままでは運搬不可能な支間長の場合、水管橋部材を分割輸送し、現地で地組等の作業が必要となります。	・ 現地での水管橋地組ヤードが不要です。
・ 支間長に応じて、河川内に架設バンド・足場等の設置が必要となります。	・ 河川内に架設バンド・足場等の設置が不要となります。
・ 単年度内で上部工と下部工を共に完工が困難な場合があります。	・ 下部工の設計(支間長の決定)を待たずに上部工の設計が可能です。
・ 物件毎に上部工の詳細設計が必要となります。	・ 許容支間長以下であれば、構造計算は不要となります。
・ 下部工の出来形に合わせた支間長での、製作・架設が必要となる場合があります。	・ 橋台間の寸法の変更や誤差等の吸収が容易にできます。



② NS フリースパン水管橋®の施工

【工場製作・輸送】

工場製作後、端部を縮めてトラックで架設現場まで輸送します。



【架設】

現地で所定の長さに引き伸ばして架設します。



【完成】



③ NS フリースパン水管橋®の適用例

【漏水等により緊急で水管橋の架け替えが必要な場合】

上部工詳細設計が不要で、現地施工日数が少ないため早期な復旧が可能となります。

【進入路に制限がある場合】

殆どのケースで4tトラックでの運搬が可能のため、進入路が狭い現場に対応できます。

【架設後のメンテナンス困難な場合】

ステンレス製なので、外面塗装等のメンテナンスが困難な現場に適します。

④ 公的登録

- (1) 商標登録 第5780954号
NS フリースパン水管橋
- (2) 特許：登録出願中

お問い合わせ先
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)
水道部

TEL(03)6865-6037